

令和5年度 第2回 尾道市公立大学法人評価委員会 議事要旨

日 時：令和5年7月28日（水）9時30分～10時05分

場 所：尾道市立大学E棟1階120会議室

出席者：尾道市公立大学法人評価委員会 萩原委員長、瀬戸委員、豊田委員、高垣委員、
藤井委員

その他の出席者

事務局（尾道市総務課） 山口総務課長、三木課長補佐兼係長、石井主任

オブザーバー 公立大学法人尾道市立大学 藤澤理事長、荒井理事兼副学長、
信木理事兼副学長、寺山理事兼事務局長、
中村芸術文化学部長、
野田企画広報室長、土岸総務課長、
福田学務課長、
若松企画広報室長補佐兼企画広報係長

報告事項：1 令和5年度第1回尾道市公立大学法人評価委員会 議事要旨について

- 議 題：1 令和4事業年度に係る業務実績評価について
2 公立大学法人尾道市立大学第3期中期目標（案）について
3 その他

【報告事項】

- 1 令和5年度第1回尾道市公立大学法人評価委員会 議事要旨について
令和5年度第1回尾道市公立大学法人評価委員会 議事要旨について事務局から説明を行った結果、特に意見はなく、速やかに公開することとした。

【議 題】

- 1 令和4事業年度に係る業務実績評価について
令和4事業年度に係る業務実績評価について事務局から説明を行ったのち、委員から次のような意見があった。その後修正したものを公表することとした。

(委員) 評価を3から2に変更した箇所について、P. 27第4-1(5)の《美術学科の計画としては3ポリシーについて最終的に周知することを力点が置かれているが、事業報告は改定案の作成に取組み、執行部会議等へ上申したと記載があるので、周知についての努力をしてもらいたいとして2にしている。

(委員) P. 43 第4-2-(2)②のサバティカル制度について、結果報告の規定を大学に質問したところ、成果の公表を求めているとの回答があったため評価はそのままにしている。貴重な機会を提供し、研究レベルをアップさせるための機会になっているので、その機会を利用し、研究成果のランクを上げていくことに結び付けていくことが大学全体としての研究力向上に繋がっていくと思うので、今後も継続してもらいたい。

第4-2(1)①の文言がやや不足しており、奨励したことの成果が見えにくいので、具体的なものを表記すれば評価しやすいと思う。

また、研究活動の公開について、広報委員会の方でアクセスしやすい形としたとの報告があるが、具体的にアクセス数がどのくらい増加したのか、学内外で公表していくことが大切だと思う。

P. 40 経済情報学部の聞き手に親身にとらえやすいものとなっているが、表現が適切ではないと考える。受験生が必要としている情報が整理され、発信されることが重要である。今後の対応をお願いしたい。

2 公立大学法人尾道市立大学第3期中期目標(案)について

公立大学法人尾道市立大学第3期中期目標(案)について、事務局から説明を行った後、中期目標については尾道市議会の議決事項となるため、第3回の評価委員会を9月または10月で開催することを説明した。なお、8月10日までに委員から意見を受け、第3回の評価委員会で最終承認を得ることとした。

3 その他について、委員の委嘱について後日正式に依頼することとした。